

平成 28 年度 事業報告書

平成 28 年度(公)熱海市シルバー人材センターの業務実績を受託件数・契約金額で前年度比較する。

全体受託件数では 27 年度 2,033 件(派遣就業含む)であったところ、28 年度では 1,688 件となり 345 件減少したその主な原因は、民間での請負委託の減少が大きい。ただし派遣業務に関しては公共・民間ともに増加している。

契約金額では、公共・民間ともに微減しており、27 年度は 135,651 千円であったところ 28 年度は 133,856 千円であり、前年に比較して△1,795 千円となった。派遣業務に関しては会員が就労しているということで受託件数にはカウントしてあるが、契約金額には反映されないため、全体として減少したものである。なお、減少額△1,795 千円のうち 615 千円は熱海駅前駐輪場の指定管理業務であり、契約金額は利用料収入であるため、利用者(台数)が年間約 400 台減少したことによる。

一方、契約金額には反映されないが、本年度の派遣業務において、公共における選挙事務や公共施設の管理業務、民間の清掃会社などに延べ 873 人派遣したという結果になっており、前年度と比較して延べ 323 人増加しており、派遣法の成立以来、該当する業務において「臨」「短」「軽」の制約がある中であっても、シルバー人材センターが介入できる業務の充実が認められ、今後も、少しずつではあっても会員の就業窓口を広げ、就労機会を提供していきます。

次に会員数ですが、平成 24 年度末 328 人・平成 25 年度末 324 人・平成 26 年度末 300 人・平成 27 年度末は 323 人というように、毎年減少していた中で、いったんは増加したものの、28 年度末では 296 人となった。このことにつきましても、年金支給年齢の引き上げによる 60 歳定年の延長などの社会的要因で加入者が増加しない、一方加齢・会費未納などで退会される方が多く、会員増加については苦慮しているところです。

(公)熱海市シルバー人材センターは高齢者法に基づく高年齢者の定年退職後などの「いきがい・社会参加」を確保し「地域の活性化・発展」を目指すことから、今後についても、知恵を絞り、さまざまな方法で就労開拓と会員拡大に努め、高齢者法の目的が達成されるよう、健全なる運営を目指します。